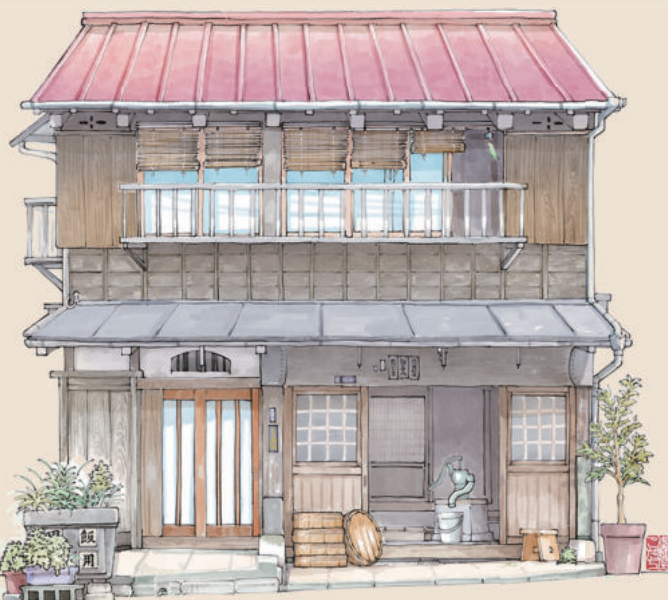


クラウドファンディング 挑戦中



目標金額
300万円～1,000万円

募集締め切り
2023年6月24日
23:00 まで

締め切りまで
残り 10日

佃島（東京都中央区佃1丁目）は、都心で江戸時代からの地割や歴史的な建築物が残っている大変貴重な地域です。佃島内の歴史的な建築物の一つである「旧飯田家住宅」が空き家となり、取り壊しが危惧されています。改修して保存・活用する為に、このクラウドファンディングを開始しました。

現在、ご支援が目標金額まで届いておらず厳しい状況となっております。このクラウドファンディングは、(All-or-Nothing方式)の為、達成しないと一円も支援金をもらえず、プロジェクトが実行不可能となってしまいます。

ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

インターネットでのご支援が難しい方へ

①以下の内容を、佃島旧飯田家住宅活用委員会にメール、お電話、郵送のいずれかでお知らせください。

- ・お名前（フルネーム / ふりがな）
- ・連絡先（メールアドレス / 電話番号）
- ・ご支援総額
- ・クラウドファンディングの不成立時における返金先口座情報
- ・返礼品の送付先ご住所

※支援金額 5千円 1万円 2万円 3万円 5万円 10万円から 100万円まで
それぞれに返礼品を用意しております。詳しくは事務局まで 又は QR コードから →

【送付先】

- ・宛先：佃島旧飯田家住宅活用委員会（芝浦工業大学 佃島学校内）
- ・住所：〒104-0051 東京都中央区佃一丁目5-3 佃島学校共同住宅 101号室
- ・電話：03-5859-8414（芝浦工業大学 地域デザイン研究室 受付担当：萩原）
- ・メール：tsukuda.iidahouse@gmail.com

②下記口座へお振込みをお願い致します。

【お振込み先】

- ・金融機関：ゆうちょ銀行（9900）
- ・支店名：〇〇八店（008）
- ・口座番号：普通 3335614
- ・口座名義：志村 秀明
- ・口座名義カナ：シムラ ヒデアキ

※恐れ入りますが、お振込金額は**ご支援総額 + システム料金 220円**、
また、振込手数料は**支援者様のご負担**でお願いいたします。

旧飯田家保存活用プロジェクト

ご支援よろしくお願ひします！

築100年の古民家！佃島の風景をみんなで見守ろう！

ご支援はこちらから



利用サイト READY FOR

返礼品の詳細



令和5年(2023年)
6月13日
 地域雑誌 佃・月島
 新聞折込特別号



地域雑誌「佃・月島」
 編集発行 地域雑誌佃・月島制作委員会
 発行人 志村秀明
 104-0051中央区佃1-5-3
 佃島長屋学校内
 magatsukutsuki@gmail.com
 050-7108-3323留守電対応

第五号・創刊号～四号バックナンバーのお買求めは
 西仲通り 相田書店
 銀座4丁目 教文館書店他
 地域の特約販売店にて
 定価200円にて好評販売中
 通信販売+送料150円=350円でもお求めになれます

創刊2021年「地域雑誌佃・月島」第六号制作中

発売日は7月25日(予定)！五号特集「勝どき」は「月島」だった 六号は？

「地域雑誌 佃・月島」は2021年1月に創刊され、年2回1月と7月に発行されています。月島三丁目北地区の再開発で解体された「月島長屋学校」(芝浦工大志村教授が主宰)のメンバーが中心となり取材・編集・運営を行っています。現在は佃一丁目に移転して活動を継続中です。



「地域雑誌 佃・月島」は、勝どき、豊海、晴海といった佃・月島の周辺地区の情報も掲載しています。

最初は月島長屋学校から地域雑誌創刊の経緯は、創刊号特集「鼎談 地域雑誌 佃・月島 誕生まで」で詳しく掲載。創刊号は長屋学校メンバーと月島でオーラルヒストリー「月島百景」の活動を始めた「宮本さん」とのコラボで実現し、中央区文化推進事業助成も受けて無料で発行。続いて第二号の発行です。

第三号の巻頭特集は！

第三号の特集1は『木造建造物とリノベーション』。佃・月島で昭和から残る木造建築を詳しく紹介。特集2『電車の思い出』と連載の『まち歩き3』は生粋の月島っ子の黒野さんと中央区文化財サポーター協会の岸本さんの共同編集です。特集3『まちの成り立ち』は、サポーターだっている「もんじゃ振興会」松井理事長へのインタビューで、もんじゃのまち月島の歴史をひもときました。

第四号は月島長屋学校、第五号は「勝どきは月島だった」

第四号は昨年6月に解体された月島長屋学校の特集でした。地域雑誌の発行母体となった長屋学校の歴史と月島三丁目再開発についてを紹介。特集2では、佃・月島に残る「我がまちの看板建築」、特集3は大好評だった「月島のマドンナ」です。そして五号は「勝どきは月島だった」。かつて二号地と呼ばれた月島12丁目までの住所表示だった勝どきを詳しく取り上げました。芝浦工大学生や海外から参加！表紙や題字のデザインは芝浦工大建築学科志村ゼミの学生が担当。昨年まで勝どきにお住まいで今は米国に帰られた「ブラッドさん」も遠隔編集会議に参加しレポートも担当。編集部には小学生・学生や主婦・シニアまでが参加。編集デザインは地域貢献とし

て二号から参加いただいたいる、月島三丁目「スタジオ278」船場ご夫妻。メンバーの中で唯一の出版プロです。さて現任制作中の第八号をちょっとフライング予告します。

六号の特集は満を持しての「佃島」の特集です。四百年前の地割を残す佃島と5年ぶりに開催される「住吉神社例大祭」で活躍する住吉講メンバーへのインタビューです。



特集1 400年前の地割りを残す 唯一無二のまち、佃島 2

特集2 インタビュー 住吉講支部の若手を率いるリーダー

- 明治学院大学3年生による月島調査 東京都中央区月島地区における再開発と地域コミュニティの両立について 20
- 世界から見る佃・月島の時をかける小東京 24
- 月島路地マップ 30
- 勝どき・豊海路地・水辺マップ 32
- 新聞記事から「発掘」する佃・月島 34
- 防災 まなぶ不動明王尊 34
- まち歩き 佃島 38
- オーラルヒストリー 38
- 鼻緒すけ職人としての伝統の技を守り続ける 46
- 「佃島百景」写真展 46
- 月島のマドンナ その二 50
- 新参者のこゑ 小学五年生 古川龍太郎 53
- 月島長屋学校物語 54
- 私のいちばんの店 三好弥輝料理店 56
- お土産に！みんな大好き！もの屋さん 57
- 伝言板 58
- 編集後記 60

ご購入は西仲通り相田書店他、ついに銀座に進出 発売までしばらくお待ちください。

最新号とバックナンバーは西仲通りに一店だけ残った町本屋「相田書店」で、銀座四丁目の老舗書店「教文館」や以下の店舗でも最新号を取り扱っています。「もんじゃ振興会」「グローバルケア」「元氣喫茶」「度十」「木かげ美容室」など。勝どき地区では「カフェアエル」「GOKIGEN」などで定価200円で販売中。通販ではバックナンバーも送料込350円で販売、メール・電話でご住所・お名前をご連絡ください。

兄弟紙「佃月島新聞」も運営に参加 2021年創刊、地域に月刊1万2千部無料宅配 地域コミュニティ紙として創刊から約10年、「地域雑誌 佃・月島」とともに地域を盛り上げる活動を続けています。HP tsukutsuki.comとメールマガジンや「LINE公式アカウント」で「地域雑誌 佃・月島」の発行情報などタイムリーな地域情報をお伝えしています。電子版つくつきがご覧になれるLINEへのご登録をお勧めいたします。

tsukutsuki.com
佃月島新聞
 発行：編集人 佃月島新聞制作委員会 佐久間保人
 編集室 〒104-0051中央区佃3-3-3 グローバルケア内
 電話：050-7108-3323
 メール info@tsukutsuki.com HP tsukutsuki.com

友だち追加